

## 2023年3月期第2四半期 決算説明会 質疑応答

日 時：2022年11月24日(木) 15:00～15:45

登壇者：代表取締役 社長執行役員 海老原 健治

執行役員 財務統括部担当 サステナブル推進部担当 経営企画部長 酒井 信禎

財務統括部長 森 要輔

経営企画部 広報・IRグループ長 川口 修司

### **Q1. 営業利益増減要因分析の実績および計画について、両セグメントともに「原材料影響等」と「価格転嫁・コストダウン」の部分が期初の計画と比べて大きく変わっているのは、なぜでしょうか。**

A1. **(海老原)** 期初に設定した製品値上げについては実施できておりますが、上半期の期中での原材料値上げが継続しております。特に化成品は下半期においても原材料値上げ交渉の妥結が続いておりますので、このような計画になっています。原材料別に見ますと、フェノールやアクリル酸エステルの値上げが今期になっても続いておりますので、打ち返すために下半期も製品値上げに取り組む計画です。

**(酒井)** 原材料の影響は、少し読み切れなかった印象があります。期初では、アイカ単体の上半期の原材料影響が6～7億円と読んでいました。しかし、ふたを開ければ、結果的に23億円ほどの原材料影響を受けてしまいましたが、価格転嫁やコストダウンでしっかりと打ち返すことはできました。上半期ほどではないにしろ、引き続き下半期も原材料の影響は受けると想定しておりますので、しっかりと製品値上げおよびコストダウンを実施してまいります。

### **Q2. アイカチャイナが下期も前年比で減益の計画ですが、まだロックダウンの影響が続いているのでしょうか。中国の状況を教えてください。**

A2. **(海老原)** 上半期は4～5月での上海のロックダウンの影響が大きかったです。その後も、断続的にロックダウンが生じています。また、中国の不動産業界の統計においても、住宅市場は冷え込みが予想されております。当社は非住宅向けが主なターゲットのため、業界全体に比べれば影響は抑えられると思いますが、不透明な点も多いので、このような計画としております。

**(酒井)** 上半期よりも下半期の方が影響額は小さいと予想しております。ロックダウンの影響は、上半期で2か月間操業停止した影響が大きかったが、その後も断続的にロックダウンが起きており、不動産市況/建設市況は統計局の数値によるとマイナス成長が明らかであるため、下半期はやや保守的に計画しております。

**Q3. 最新のナフサ価格は、期初のナフサよりも低い価格で予測されている。ナフサ価格が下がり基調の中でもこのような原材料影響を見込まれている理由を教えてください。**

A3. **(海老原)** ナフサ由来の原料もありますが、すべての原材料がナフサに連動するわけではありません。下半期にかけてナフサ価格が落ち着いてきており、上半期に比べると原材料高騰は緩やかになるとみておりますが、まだ高止まりしている原材料があります。

以 上